

**平成24年度 事務事業評価シート**

<b>事業の概要</b>	事務事業名	民間建築物吹付けアスベスト対策事業						担当部	都市建設部			
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	建築課			
	事業期間	平成21年度			～	平成30年度以降			担当係	建築係		
	総合計画 分野別計画	主目的	2 環境交通		7 環境対策		4 環境保全活動を進める					
		副目的										
	予算区分	款	8		項	1	目	2	大	4	中	1
	根拠法令・個別計画	石綿障害予防規則、建築基準法、小牧市民間建築物吹付けアスベスト対策費補助金交付要綱										
	実施・運営方法 ※費用合計に占める経費の内訳(割合)	直接実施・運営	23 %		委託	0 %		助成	77 %			
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	民間建築物に露出して吹付けられているアスベストを分析調査、除去等を促すことにより健康被害を予防し、市民の安全・安心を確保する。										
	内容 (手段)	<p>○平成23年度実施内容</p> <p>【アスベストの分析調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建築物の所有者又は管理者が行う壁、柱、天井等に露出して吹付けられた建材に係るアスベストの含有の有無のアスベスト分析調査に要する費用に対して全額、ただし上限250千円の助成を行う。</li> <li>・建築物の所有者から1件の申請があり、分析調査が実施され、結果的にアスベストは検出されなかった。</li> <li>・補助額34千円。</li> </ul> <p>【アスベストの除去等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・除去、封じ込め又は囲いこみ等の改修がされたときには、改修に要する費用に対して2/3以内の額、ただし上限1,800千円の助成を行う。</li> <li>・建築物の所有者から1件の申請があり、除去工事が実施された。</li> <li>・補助額1,729千円。</li> </ul> <p>○平成24年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成21年度に制定をした要綱に基づき、引き続きホームページ等で助成制度の案内を実施する。</li> </ul>										
受益者負担	無											

		単位	H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24予算額		
<b>コスト</b>	<b>費用</b>	直接経費	千円	39	0	1,763	2,300	
		正職員	従事者数	人	0.10	0.10	0.10	0.10
			人件費	千円	531	531	531	531
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計		千円	570	531	2,294	2,831
	対前年比		%		93.1	432.0	123.4	
<b>財源</b>	一般財源		千円	531	531	964	981	
	国・県支出金		千円	39	0	1,330	1,850	
	その他財源		千円	0	0	0	0	

業	活動指標名	単位		H21	H22	H23	H24
	分析調査棟数	棟	目標		2	2	2
実績				1	0	1	
除去等改修棟数	棟	目標		1	1	1	1
		実績		0	0	1	
績	成果指標名	単位		H21	H22	H23	H24
			目標				
延べ分析調査棟数	棟	目標		2	2	2	2
		実績		1	0	1	
延べ除去等改修棟数	棟	目標		1	1	1	1
		実績		0	0	1	

事業の自己評価	平成23年度の実施結果	事業の達成状況	分析調査、除去等について、それぞれ1件の実績があり、被害を軽減できた。				
		事業実施における課題等	過去に広報に掲載した際、問合せはあったものの実際に補助の対象となるものはなかった。 自己の建築物にアスベストが使用されていることを知らない所有者に対する周知が課題である。				
		事業を縮小・廃止したときの影響	普段立ち入らないような機械室、倉庫等に使用されている場合もあり、今後もいつ申請があるかわからない状況であるため、継続は必要と考えます。 また、補助制度が廃止され、自己負担となれば、違法な除却工事が行われ、アスベスト飛散の恐れも考えられる。				
	今後の事業の方向性	方向性の判定	現状維持				
		判定理由	アスベストは健康被害を及ぼすものであり、除去等には特殊な工事が必要で、高額なため、この制度は建築物の所有者の負担軽減のためにも継続する必要がある。 分析調査にあつては全額国庫補助ということもあり、縮小・廃止は検討しておりません。				
		改善案等	アスベストがどういうところにどう使われているかわかるような事例を示すなど、周知方法についてよりわかりやすいものにしていく。				

二次評価	方向性の判定	判定理由				
	現状維持	一次評価のとおり。				